

令和3年第3回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

令和3年9月7日（火） 議員団会議終了後
保土ヶ谷区役所2階 202会議室/WEB会議併用

次 第

議 題

- 1 令和2年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行実績について
- 2 令和3年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行状況について
 - 2-1 多文化共生まちづくり事業について
 - 2-2 花薫るきれいな街ほどがや事業について
 - 2-3 福祉保健センターにおけるコロナ禍健康課題への取組について
- 3 その他

令和2年度保土ヶ谷区

個性ある区づくり推進費等

執行実績

令和3年9月7日

保土ヶ谷区

《目次》

1	令和2年度個性ある区づくり推進費執行総括表	2
2	令和2年度個性ある区づくり推進費執行内訳	2
(1)	施策分野別自主企画事業費執行実績	2
(2)	事業別自主企画事業費執行実績	3
(3)	統合事務事業費執行実績	13
(4)	区庁舎・区民利用施設管理費	14
《参考1》	区局連携促進事業執行実績	15
《参考2》	元気な地域づくり推進事業執行実績	16

1 令和2年度個性ある区づくり推進費執行総括表

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	差引の主な理由
自主企画事業費 (38事業)	100,982,000	94,621,665	6,360,335	○スポーツの街ほどがや推進事業における、新型コロナウイルス感染症の影響による各種スポーツ大会中止に伴う補助金の減(2,070,503) ○ほどがや元気づくり事業における、新型コロナウイルス感染拡大防止による多数の事業の中止に伴う委託費の減(2,875,536)
統合事務事業費	43,180,000	41,356,090	1,823,910	○広報よこはま発行事業における、新型コロナウイルス感染拡大による7・8月号の減ページに伴う委託費の減(1,136,003)
区庁舎・区民利用施管理費	538,786,000	537,862,649	923,351	○広場・遊び場における、草刈・除草等の件数が少なかったことによる委託費の残(723,656)
合計	682,948,000	673,840,404	9,107,596	

2 令和2年度個性ある区づくり推進費執行内訳

(1) 施策分野別自主企画事業費執行実績

(単位：円)

施策分野	予算額	決算額	差引	主な事業・主な取組
1 暮らしの安全・安心の確保	23,088,000	28,278,989	△ 5,190,989	【災害対策推進事業】 (3ページ) ○地域防災拠点の感染症対策や減災運動推進大会等の活動による、地域における自助・共助の推進 【交通安全対策事業】 (4ページ) ○交通安全運動等による交通事故の防止や、放置自転車の防止による歩行者への安全対策の推進
2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり	24,542,000	12,397,270	12,144,730	【ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～】 (5ページ) ○地域赤ちゃん教室やほめ方しかり方講座等の開催による、妊娠期から学齢期前まで地域で孤立しない子育てサポートを実施 【ほどがや歯っぴいHealth事業】 (6ページ) ○区民生活の質の向上を目指し、健康な口腔を保つための知識の啓発や実技指導を実施
3 つながり・支えあいの推進	21,981,000	15,054,048	6,926,952	【地域見守り推進事業】 (9ページ) ○ひとり暮らし高齢者等が孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員や児童委員協力員の委嘱等継続的な見守りを実施 【保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業】 (9ページ) ○各地区の取組支援や、ほっとなまちづくり推進会議における取組の情報共有等による、第4期保土ヶ谷区地域福祉保健計画の策定を実施
4 魅力あるまちづくり	18,666,000	13,409,721	5,256,279	【歴史浪漫ほどがや事業】 (10ページ) ○案内サイン等の維持管理 ○まちの魅力発信拠点の整備・運営 【鉄道高架下を生かしたまちづくり検討事業】 (10ページ) ○相模鉄道本線連続立体交差事業に伴う、星川駅周辺地区のまちづくりガイドラインの策定
<信頼される区役所づくり ～「チーム保土ヶ谷」の強化～>	12,705,000	25,481,637	△ 12,776,637	【「利用しやすい区役所」推進事業】 (11ページ) ○区役所別館3階レイアウト変更
合計	100,982,000	94,621,665	6,360,335	

(2) 事業別自主企画事業費執行実績

1 暮らしの安全・安心の確保

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進しました。また、誰もが安全に安心して暮らせるよう、道路や公園等の維持管理、交通安全対策、防犯、感染症対策、食の安全、様々な困難を抱える家庭の社会的自立に向けた支援などに取り組みました。

【予算額 23,088,000 円】

【決算額 28,278,989 円】

1 エコ活動推進事業【(予) 770,000 (決) 178,428】

横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を 2020 年度までに 22%、2030 年度までに 30%、2050 年度までに 80%以上削減 (2013 年度比)」の目標を達成するため、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援を行いました。

- (1) 保土ヶ谷区民会議との協働事業として、ほ도가や朝市での「廃食油の回収」や「フードドライブの受付」を実施 (12 月～2 月)
- (2) 区食生活等改善推進員と連携し、食品ロス削減に向けたチラシを作成 (3 月)
- (3) 区ホームページや Twitter 等を活用した啓発・情報提供 (通年)

2 災害対策推進事業 (20 万区民の自助・共助による減災運動)

【(予) 10,613,000 (決) 16,691,692】

「20 万区民の自助・共助による減災運動」を推進し、地域防災力の向上を図るとともに、避難所における感染症対策として、運営従事者への研修による運営体制の強化と感染症対策物資の配備・充実を行いました。

- (1) 保土ヶ谷区感震ブレーカー等設置推進事業 (4 月～) (13 団体 804 個)
- (2) 保土ヶ谷区防災講習会講師派遣事業 (4 月～) (1 団体)
- (3) 次世代の防災の担い手育成事業 (5 月～)
 - ・小中学校への防災ガイド・防災マップ配布や、防災出前講座の実施 (小学校 4 校 274 人)
- (4) 重点月間を定めた広報啓発キャンペーン (6 月、9 月)
 - ・防災のぼり旗の掲出 (区内全小中学校、地区センター)、啓発マグネット貼付 (公用車)
- (5) 避難所運営に備えた職員向け風水害研修 (8 月)、感染症対策物資の配備・充実 (通年)
- (6) 地域防災拠点支援事業 (通年)
 - ・運営委員向けに感染症対策を踏まえた避難所開設・運営研修を実施 (24 拠点参加) (10 月)
- (7) 減災運動推進大会 (1 月) ※緊急事態宣言により中止、公演は動画にて配信
 - ・内容：コロナ禍における災害への備えをテーマとした講演会及び地域の取組事例発表

【差引の主な理由】

避難所における感染症対策物資の購入による増。

3 保土ヶ谷区地域防犯力向上事業【(予) 5,964,000 (決) 6,507,672】

警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、特殊詐欺などの犯罪を防止し、安心・安全なまちづくりを推進しました。(通年)

4 交通安全対策事業【(予) 4,384,000 (決) 3,924,515】

交通安全運動や交通安全教育など交通事故防止のための啓発を推進しました。また、駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発しました。(通年)

5 暮らしの衛生サポート事業【(予) 1,357,000 (決) 976,682】

生活衛生に関する最新情報や正しい知識についてわかりやすく啓発し、区民の安全・安心な食と生活環境づくりを支援しました。

- (1) みんなの食堂向け衛生管理手引書の作成 (10 か所)
- (2) 食中毒予防3原則に関する啓発品 (付箋) の作成 (900 個)
- (3) 地域防災拠点に向けたペット避難場所開設キットの作成、配布
(5 拠点、以降は運営委員会と調整次第配布)
- (4) ペット同行避難に関する拠点訓練説明用の DVD データの作成

2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、生活習慣病予防、介護予防などに取り組みました。また、スポーツを通じた健康づくりを推進しました。

【予算額 24,542,000 円】

【決算額 12,397,270 円】

6 スポーツの街ほどがや推進事業【(予) 4,063,000 (決) 1,992,497】

誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、区内唯一のプロスポーツチームである横浜 FC との連携を通じて、区民が一流のプレーを観戦する機会などを創出し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図りました。(通年)

【差引の主な理由】

新型コロナウイルスの影響により、各種スポーツ大会やパラスポーツ体験教室を開催することができなかったため。

7 みんなで育む がやっこ事業【(予) 1,076,000 (決) 339,612】

“がやっこ (元気な保土ヶ谷の子どもたち)” の健全育成を図るため、地域の資源である横浜国立大学と連携し、大学教員による体験型講座や学生の企画・運営による交流活動を行いました。

- ・ がやっこ先生事業 (派遣中止)
- ・ がやっこ夏休み教室事業 (12 月以降)
- ・ がやっこ探検隊事業 (10 月以降)

8 青少年健全育成事業【(予) 456,000 (決) 79,573】

子ども会と連携して、未来を担う青少年が健やかに成長できる地域環境の実現を図るとともに青少年の健全育成を推進しました。(通年)

9 がやっこキッズ学び育み事業【(予) 2,950,000 (決) 1,450,359】

学校以外での学習機会に恵まれない子どもたちが基礎学力や学習習慣を身に付けられるよう、放課後キッズクラブの特別プログラムとして、参加を希望する児童に対する学習アドバイザー等による学習支援を行いました。

(1) 継続校(9校)で事業の実施(新型コロナウイルス感染拡大予防のため下半期より実施)

*仏向小及び上菅田笹の丘小については、感染拡大防止との両立困難のため、通年休止

(2) 新規3校(上星川小、権太坂小、常盤台小)での事業開始(下半期より開始)

【差引の主な理由】

学習支援教室開始延期及び休止に伴う補助金の残(1,333,601円)

事業サポート委託料の残(84,000円)

10 ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～

【(予) 6,062,000 (決) 4,456,516】

地域で孤立しない育児ができるように、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期から学齢期前まで、トータルで子育てをサポートする事業を実施しました。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めていきました。

(1) 両親教室(4回) (2) 保育所による妊娠期及び未就学児親子の支援(通年)

(3) 合同育児講座の開催(大規模中止、小規模2回) (4) 地域赤ちゃん教室の開催(通年)

(5) 外国人親子の居場所づくり(2回) (6) 乳幼児健診来庁者への情報提供(112回)

(7) 子育てお役立ち情報(子育てマップ、ホームページ)の充実(通年)

(8) ほめ方しかり方講師養成講座の開催(全5会場、各5回、ファシリテーター養成講座1回)

(9) 地域子育て支援連絡会の開催(全体会中止、地区別7地区中7地区実施)

(10) ほどがやこどもニコニコフェスタの開催(11月開催) (11) 保育園応援隊の実施(通年)

【差引の主な理由】

・合同育児講座の一部中止、ほがらか広場の中止による残(267,000円)

・赤ちゃん教室4、5月休止に伴う講師謝金の残(120,000円)

・外国人親子居場所づくり事業一部中止に伴う残(216,700円)

・子育てお役立ち情報の消耗品購入を控えたこと等による残(235,052円)

・地域子育て支援連絡会の一部中止による残(399,973円)

11 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業【(予) 2,037,000 (決) 940,385】

こども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めました。また、孤立しやすい若年やひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげました。

- (1) 児童虐待防止啓発事業の実施（4回実施）
- (2) 要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催（3回実施、4回中止）
- (3) 女性の離婚等のための相談事業の実施（16回実施）
- (4) 子どもの発達講座の開催（2回実施）

【差引の主な理由】

- ・区民まつり中止に伴う啓発物品作成に係る費用等の残（823,505円）
- ・エリア別要対協一部中止に伴う講師謝金等の残（106,110円）
- ・ライフサポートカウンセリング事業一部中止に伴う報償費の残（80,000円）

12 ほどがや歯っぴいHealth事業【(予) 1,400,000 (決) 492,653】

口腔の健康状態は全身に大きく影響します。歯の生え始めからのむし歯予防、成人期以降の歯周病予防、そして、オーラルフレイル予防まで、生涯にわたって口腔内を健康に保つていくために必要な知識や口腔内のお手入れ方法を、動画や教材を使用しながら啓発しました。(通年)

13 ほどがや元気づくり事業【(予) 4,380,000 (決) 1,504,464】

「働き・子育て世代」(30～50代)中心とした区民へ健康に関する情報提供やきっかけづくりをすることで、自分自身で健康の維持・増進をする機運を高めました。

- (1) ほどがや元気健康情報の発信（随時）
- (2) 体験型の健康講座と支援：子育て支援拠点等での健康啓発（中止）
業界団体・区内企業向け支援（10月実施）
その他、各種イベントでの啓発（中止）

【差引の主な理由】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体験型講座や各種イベントが中止になったため。

14 輝けシニア！2025事業【(予) 1,429,000 (決) 1,023,600】

高齢者が可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めました。

- (1) 介護予防：きらり☆シニア塾認定（通年）、ほどがや体操CD・DVD配布（通年）
- (2) 老人クラブ：ことぶき大学（12月）、高齢者作品展（11月）、囲碁・将棋大会（中止）
- (3) 認知症支援：サポーター養成講座（9月、11月）、医療機関等との連携講座（中止）
- (4) 区行動指針を活用した地域包括ケアシステムに関する普及啓発（通年）

15 学齢障害児フレンドサポート事業【(予) 689,000 (決) 117,611】

障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援しました。

- (1) 放課後事業の実施 (休日 5 回、平日 3 回)
- (2) 長期休み期間事業の実施 (中止)
- (3) 休日事業の実施 (中止)

3 つながり・支えあいの推進

自治会町内会をはじめとした幅広い分野の関係団体の皆様等との協働を推進するとともに、地域活動や団体間の連携強化を支援します。また、地域での見守り活動の推進や、高齢者や障害のある方への支援、地域の様々な活動の担い手の確保に取り組みました。

【予算額 21,981,000 円】

【決算額 15,054,048 円】

16 広聴の区民協働事業【(予) 832,000 (決) 627,089】

「地域のつどい」「区民のつどい」の開催等の区民会議活動を行うほか、区民会議活動を広く区民にお知らせするニュース「やまびこ」を発行しました。

- (1) 「地域のつどい」書面開催 (10 月)、「区民のつどい」動画配信 (3 月)
- (2) 分科会の活動 (通年)
- (3) ニュース「やまびこ」の発行 (1 期 2 年間に 3 回発行)

17 横浜国立大学留学生の地域交流推進事業【(予) 665,000 (決) 339,830】

地域と留学生との交流を通じて、地域の活性化を図りました。また、地域での活動やイベントへの参加などを通じ、留学生が日本の文化に触れる機会を増やすことで、日本や横浜、保土ヶ谷の魅力を見つけてもらおうとともに、留学生が地域に対して、自国の文化を発信する機会を増やすことにより、地域との交流を促進しました。

- (1) 留学生による「自国の文化紹介」記事を区ホームページへ掲載 (通年、計 20 か国)
- (2) 保土ヶ谷区多文化共生サポーターズ「はなもも」と連携し、市と姉妹都市提携 55 周年を迎えたマニラ (フィリピン)、ムンバイ (インド) の民芸品を区民ギャラリー (区役所 1 階) に展示 (10~11 月)。
- (3) 「ほどがや国際フェスタ」で、「自国の文化紹介」について紹介するパネル展を開催 (11 月)

18 ほどがや区民まつり【(予) 4,900,000 (決) 970,431】

例年、区民や区内各種団体の交流促進及びコミュニティ醸成のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催しているところ、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止としました。

なお、代替事業としてコロナ禍においても区民に楽しんでもらうコンテンツを集めた「ほどがやアラカルト」を実施しました。

【差引の主な理由】

ほどがや区民まつりの中止に伴い、ほどがや区民まつり実行委員会への補助金の交付を行わなかったため。

<p>19 自治会町内会支援事業【(予) 3,735,000 (決) 2,357,031】</p> <p>地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支援し、市政・区政推進の基盤となることを目的に、自治会町内会長への表彰状、記念品を配布しました（感謝会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）。自治会町内会あての掲示等を集約し、配布しました。</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、永年在職者表彰式を中止としたことにより、委託料の不用が発生しました。</p>
<p>20 ほどがや☆元気村【(予) 570,000 (決) 570,000】</p> <p>水田という貴重な地域資源を活用し、児童をはじめ多くの区民の多世代交流の場を作りました。実行委員（ボランティア）による自主的な企画・運営等の活動を通して、地域の新たな担い手として活躍していただくきっかけを作りました。</p> <p>大根の種まき（9月）、稲刈り・脱穀・精米（10月）、わら細工（11月）、大収穫祭（12月）</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況から、4月～8月の活動は中止しました。</p>
<p>21 市民活動支援事業【(予) 4,149,000 (決) 4,768,450】</p> <p>市民活動・生涯学習活動の拠点として市民活動支援センター（アワーズ）を活用し、地域で活動する区民や団体間の連携・協働を進めるため、区民の要望やニーズを反映したきめ細やかな支援を行いました。（通年）</p>
<p>22 はぐくみプロジェクト【(予) 3,140,000 (決) 1,998,163】</p> <p>区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行いました。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を実施しました。（通年）</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染状況から、事業の縮小・参加者数減があったため。</p>
<p>23 障害者地域支えあい連携推進事業【(予) 987,000 (決) 961,007】</p> <p>障害者支援関係機関の中心となる保土ヶ谷区障害者自立支援協議会の円滑な運営及び活動を支援しました。</p> <p>また、当該協議会の部会活動として実施している、通所事業所等による自主製品販売の販路確保及び拡大を支援し、障害者の社会参加の機会拡大を図りました。</p> <p>(1) 自立支援協議会の開催（全体会：1回（書面開催）、専門部会：40回）（通年）</p> <p>(2) 障害者の社会参加拡大を目指したハンドメイド商品の販売促進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所での販売の機会及び場の提供（通年） ・事業所商品紹介リーフレットの印刷（3,000部） ・販売時に着用するオリジナルロゴ入りエプロンの作成（41着）

24 《新規》ほどがや花のおもてなし事業【(予) 812,000 (決) 630,000】

障害のある方の社会参加の機会を増やすとともに、区庁舎の窓口環境の向上を目的に、障害福祉事業所と連携してフラワーアレンジメントを作製し、窓口に展示しました。

【スケジュール】

6～7月 区内障害福祉事業所に参加者を募集・確定

地域のボランティアに講師を依頼

障害のある方のフラワーアレンジメント技術の習得及び展示の試行実施

8～3月 各窓口へフラワーアレンジメントの展示（毎週・計30回）

25 保土ヶ谷ほとなまちづくり推進事業【(予) 923,000 (決) 524,253】

第3期保土ヶ谷ほとなまちづくり（地域福祉保健計画）（計画期間：平成28年度から令和2年度まで）を推進しました。さらに、第4期保土ヶ谷ほとなまちづくり（地域福祉保健計画）（計画期間：令和3年度から令和7年度まで）の区全域計画策定を行いました。

また、各地区が、様々な課題に対して主体的に取り組むとともに、第4期地区別計画の策定に向けた検討を進められるよう、地区支援チームが支援しました。

(1) ほとなまちづくり推進会議（6月〔書面〕、10月、2月〔書面〕）

(2) 地区別計画策定の支援（通年）

26 地域見守り推進事業【(予) 1,268,000 (決) 1,307,794】

ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員だけでなく、地域にお住いのあんしん訪問員（ボランティア）が民生委員・児童委員を通じて、区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守りました。

また、あんしん訪問員とともに地域の見守り等を行っている、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行いました。

(1) 民生委員・児童委員協力員の委嘱（毎月1日付で委嘱）

(2) あんしん訪問事業補助金を各地区推進委員会へ交付（6月）

(3) あんしん訪問事業全体研修会の開催（3月〔中止：外部講師の講義を撮影してDVDで配付〕）

(4) あんしん訪問事業地区推進委員会連絡会の開催（3月〔中止〕）

4 魅力あるまちづくり

自然や歴史・文化など地域資源を生かした取組や、鉄道駅周辺のまちづくり、交通ネットワークの向上、商店街振興、多文化共生の取組等、活力あるまちづくりを推進します。また、区の魅力を高めて発信し、地域への愛着を育みます。

【予算額 18,666,000円】

【決算額 13,409,721円】

<p>27 歴史浪漫 ほどがや事業【(予) 2,667,000 (決) 2,842,161】</p> <p>旧東海道の宿場町に代表される保土ヶ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民や他の関係区局と協働で進めました。</p> <p>(1) 歴史パンフレット増刷 (3月)</p> <p>(2) 歩きやすい街道づくり (松並木剪定計画作成 (12月)、案内サイン等の維持管理) (通年))</p>
<p>28 《新規》鉄道高架下を生かしたまちづくり検討事業 【(予) 5,000,000 (決) 5,000,000】</p> <p>星川駅周辺高架下において、地域交流の活性化や地区の歴史的魅力発信等の検討を進めることにより、区心部にふさわしい賑わいあるまちづくりを目指しました。(通年)</p> <p>(1) 「星川駅周辺地区 総合的なまちづくりガイドライン」の策定 (12月)</p> <p>(2) 相鉄グループと星川駅周辺等の魅力づくり基本協定締結 (12月)</p> <p>(3) 周辺施設・運営者との意見交換会 (2～3月)</p> <p>(4) 星川駅周辺等の魅力や未来を話し合うオンラインワークショップ開催 (2～3月)</p> <p>(5) 近隣小学校へへの出張授業・星川駅自由通路への絵の展示 (3月)</p>
<p>29 保土ヶ谷商工業支援事業【(予) 578,000 (決) 239,620】</p> <p>地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店街を宣伝する場を提供、また様々な広報媒体を活用しながら商店街のPRを行いました。さらに、商店街だけでなく製造業を含む企業の支援を行いました。(通年)</p>
<p>30 地産地消推進事業【(予) 408,000 (決) 313,842】</p> <p>農家・地域活動団体・区役所が協力し、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めました。</p> <p>(1) ほどがや朝市の開催 (年 13回)</p> <p>(2) 地産地消のPR (通年)</p>
<p>31 国際文化理解事業【(予) 948,000 (決) 82,703】</p> <p>国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、ブルガリアをはじめとする多文化共生社会の実現を目指しました。(通年)</p>
<p>32 花薫るきれいな街ほどがや事業【(予) 4,842,000 (決) 2,434,362】</p> <p>次世代につなげる魅力あるほどがやのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢プラン」の推進と街の美化に取り組みました。(通年)</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止によるイベント (花フェスタ 2020) 中止のため。</p>
<p>33 読書活動推進事業【(予) 750,000 (決) 325,960】</p> <p>区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発や読書に親しむ講座などを実施することで、保土ヶ谷区民の読書活動を推進しました。(通年)</p>

<p>34 保土ヶ谷区芸術の街【(予) 2,747,000 (決) 1,517,337】</p> <p>保土ヶ谷区民の文化活動を通じた地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー及び区の歌普及事業等を実施しました。(通年)</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>区民文化祭事業がコロナ禍により9団体が未実施となり補助金の不用が発生したため。</p>
<p>35 広報推進事業【(予) 726,000 (決) 653,736】</p> <p>様々な広報手段を総合的に運用することにより、重層的・多角的な広報活動を展開しました。</p> <p>(1) 転入者セットの作成(通年)</p> <p>(2) 保土ヶ谷区に関する各種統計調査情報を便覧の形式で発行(3月)</p> <p>(3) インスタグラムを利用した区の魅力発信(通年)</p> <p>(4) 職員の広報マインド向上として研修資料を配布(1月)</p>
<p>＜信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～＞</p> <p>来庁者の用件等を丁寧に傾聴し、信頼され、親しまれるサービスを提供します。窓口サービスの効率化や利便性の向上を追求し、正確・適正な事務の執行を実践しました。また、庁舎等の環境整備に取り組みました。</p> <p style="text-align: right;">【予算額 12,705,000 円】 【決算額 25,481,637 円】</p>
<p>36 区総合調整事業【(予) 2,000,000 (決) 4,282,370】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応のため、区役所で使用する各種感染症対策物品等の購入や庁舎内の消毒清掃の強化のほか、新型コロナ関連情報の広報など、緊急的に必要な対応を行いました。(通年)</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>感染症対策物品購入や関連情報の広報等の新型コロナウイルス感染症対応経費の増。</p>
<p>37 「利用しやすい区役所」推進事業【(予) 10,022,000 (決) 20,640,370】</p> <p>区民の皆様が安心して快適に利用できるよう区庁舎・区民利用施設の環境を整備・改善し、区民サービスを向上しました。(通年)</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、執務室及び待合室の密の改善・換気の向上等の環境改善を行ったことによる増。</p>

38 窓口サービス向上事業【(予) 683,000 (決) 558,897】

区民の皆さまから信頼される区役所に向けて、職員の対応マナーや人権感覚の向上を図るとともに業務改善を進めました。

- (1) 職員接遇研修の実施：「対応マナー研修」(8月：計2回 24名)、「クレーム対応研修」(9月：計2回 23名)「CSリーダー研修」(10月：計2回 15名)、「ナレッジマネジメント研修」(12月：計1回 14名)
- (2) 人権啓発研修の実施(6月～12月)
- (3) 市民向けWEB人権啓発講演会の開催(1月～3月)(講師：洪江寧氏、若佐一真氏「新型コロナウイルス感染症の3つの顔と差別について」視聴回数：1,425回)
- (4) 改革推進委員会：新採用プロジェクト(商店街紹介等)、課横断プロジェクト(庁内連携強化等)各課改善隊(職場環境整備等)

(3) 統合事務事業費執行実績

(単位：円)

事業区分	予算額	決算額	差 引	差引の主な理由
統合事務費	24,938,000	25,318,641	△380,641	郵送物の増による通信運搬費の増
統合事業費	18,242,000	16,037,449	2,204,551	
広報よこはま発行事業	8,128,000	6,991,997	1,136,003	入札残及び減ページによる委託費の減
広聴の相談事業	670,000	658,015	11,985	区民まつり開催中止による会費及び負担金の残等
クリーンタウンほどがや事業	668,000	362,600	305,400	実績による減
消費生活対策事業	101,000	98,010	2,990	
緊急時情報システム事業	290,000	211,200	78,800	保守委託単価減による残
スポーツ推進委員事業	2,270,000	1,902,062	367,938	実績による減
青少年指導員事業	4,975,000	4,621,985	353,015	実績による減
学校・家庭・地域連携事業	960,000	1,160,000	△200,000	実績による増
健康づくり月間事業	180,000	31,580	148,420	補助金交付廃止による残
合 計	43,180,000	41,356,090	1,823,910	

(4) 区庁舎・区民利用施設管理費執行実績

(単位：円)

事業区分	予算額	決算額	差 引	差引の主な理由
区庁舎・区民利用施設 管理費	538,786,000	537,862,649	923,351	
区庁舎	101,006,000	102,129,391	△1,123,391	清掃設備保守委託における 入札額の増等
ほどがや 市民活動センター	25,879,000	26,279,000	△400,000	実績による委託費の増
土木事務所	8,857,000	9,431,045	△574,045	光熱水費の増等
公会堂	56,384,000	56,425,800	△41,800	工事实績による委託費の増
地区センター等	337,739,000	338,507,813	△768,813	工事实績による委託費の増
広場・遊び場	2,388,000	1,664,344	723,656	実績による減
区庁舎・区民利用施設 修繕費	6,533,000	3,425,256	3,107,744	実績による減
合 計	538,786,000	537,862,649	923,351	

《参考1》区局連携促進事業

関連局と連携して様々な事業を戦略的に行うための所要額を事業所管局予算として計上しました。

細目事業名	予算額	決算額	差引	概要
星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業	3,000,000	2,661,432	338,568	<p>連続立体交差事業による星川駅周辺の道路整備を契機として、前年度に実施した周辺交通の現況把握や地域の交通需要についてのアンケート調査について、詳細な分析や安全性や採算性の確保などを考慮し、検討路線の具体化に向けバス事業者とルート案について情報共有や調整を行いました。</p> <p>(事業所管局：道路局) (通年)</p>
合 計	3,000,000	2,661,432	338,568	

《参考2》 元気な地域づくり推進事業

市民局からの予算配付を得て、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中、自治会町内会をはじめとする地域の様々な主体が連携して行う課題解決の取組を支援しました。

細目事業名	予算額	決算額	差引	概要
“輝け、地域力！”事業	2,581,000	1,016,315	1,564,685	少子高齢化や多様化する地域課題に対して的確に対応するため、地域支援に取り組むとともに、地域と行政の協働を推進しました。（通年）
地域・まちづくり活動支援事業	1,217,000	389,872	827,128	地域・まちづくりにつながる社会的公共性を持つ区民活動を支援し、「区民との協働による個性豊かな地域づくり」の促進を図るために、事業費を補助しました。（通年）
保土ヶ谷ほっとなまちづくり地区別計画推進事業	911,000	264,315	646,685	保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画は、地域の様々な人や活動団体と区役所等の関係機関が協働して取り組む計画です。地域住民が主体となって取り組む地区別計画の推進や策定、地域課題の解決を支援しました。 (1) 希望地区へのアドバイザー派遣（通年）
合計	4,709,000	1,670,502	3,038,498	

施策分野・事業名	3年度予算
◆ つながり・支えあいの推進	3,090
《新規》多文化共生まちづくり事業（区政推進課）	千円

1 事業概要（目的）

保土ヶ谷区には 5,509 人（令和3年3月末現在）の外国人が生活しています。今後も外国人人口の増加が予想されるため、外国人が抱える課題や、外国人の増加に伴う地域における課題を把握し対応していくことが必要です。

また、「ほどがや国際交流ラウンジ」が手狭となっているため、本来有すべき機能が発揮できておらず、対策が必要です。

これらの課題に対応し、多文化共生のまちづくりを推進するための取組を実施します。

2 今後の予定

(1) 多文化共生まちづくり計画（仮称）の策定

多文化共生に関する課題の把握や解決策についての調査等を行い、保土ヶ谷区における多文化共生施策の方向性を明らかにし、「ほどがや国際交流ラウンジ」の現状・課題の把握・分析、対応策の検討具体的な行動計画である「保土ヶ谷区多文化共生まちづくり計画（仮称）」を策定します。

年 月	項 目	内 容
令和3年 ～8月	現状・課題整理	・ 在住外国人、地域の方等への聞き取り調査 ・ 基礎データ収集、整理（統計データ・住民基本台帳利用）ほか
8月 ～12月	・ 庁内検討会 ・ 懇談会	・ 庁内検討会の実施、計画（素案・イメージ）の検討、意見交換、懇談会の実施 等
令和4年 1～2月	市民意見募集取りまとめ	・ 計画素案に対する意見募集
3月	計画策定	・ 計画策定

(2) 地域資源を生かした多文化共生の推進

地域コミュニティでの多文化共生を推進するため、横浜国立大学留学生や区内活動団体等と連携した、多文化共生の広報・広聴、多文化交流などの取組を実施します。

施策分野・事業名	3年度予算
4 魅力あるまちづくり	4,246 千円
花薫るきれいな街ほどがや事業	

1 事業概要（目的）

平成10年に制定された「ほどがや花憲章」とその理念をより一層周知・普及するとともに、地域と連携しながら清潔できれいな花の街ほどがやづくりを進めます。

「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」事業の推進のため、ごみの分別や3Rに関する啓発活動に取り組みます。

2 これまでの執行状況

5月15日に実施予定のほどがや花フェスタ2021は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になりました。

7月下旬に星川中央公園の花壇の植替えを実施しました。

昨年度、和田町駅前に設置し、地域の方に維持管理をしていただいている花壇の花苗の植替えを8月中旬に実施しました。

※和田町駅前は路上喫煙や酒盛り等の苦情が区に多く寄せられていました。



和田町駅前花壇設置前



和田町駅前花壇設置後

3 今後の予定

昨年と今年の2年に渡り、保土ヶ谷花フェスタが中止になり、ほどがや花憲章のPRができていません。

そこで、ほどがや花の街推進連絡会と代替事業を検討した結果、花の街ほどがやのシンボルとなる花時計を区役所入口に設置して、区役所に来庁されるお客様を四季折々の花でお迎えしつつ、区民の皆様にさらにほどがや花憲章を知っていただけるようPRします。

また、昨年度、多くの人が集まる自治会・町内会館に花苗を植えたプランターを花憲章普及のため配付しました。(34箇所、155鉢) 非常に好評だったことから、今年度も希望する自治会に配付します。

今後は、地域のみならず、学校や企業とも連携をして、清潔できれいな花の街ほどがやづくりを進めてまいります。



花時計(イメージ写真)



自治会・町内会館に配付したプランター

施策分野・事業名	3年度予算
2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり	
ほどがや元気づくり事業	4,853千円
ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～	6,204千円

1 事業概要（目的）

「働き・子育て世代」を中心とした区民への健康に関する情報提供やきっかけ作りをすることで、自分自身で健康の維持・増進をする機運を高めます。

2 これまでの執行状況

新型コロナウイルス感染症の流行は、がん検診の受診率低下や歯科を含む医療機関未受診者の増加、外出自粛を原因とする体力の低下など様々な健康影響をもたらしています。また、イベント等の中止により、健康啓発の機会も制限されています。そこで、このような時期だからこそ、自身の健康への関心を高め、受診や健康づくりのきっかけとなるように、「新しい生活様式」を意識した動画配信や街頭放送など手法を工夫しながら、区民の皆様に健康情報を提供しました。

（1）お口の健康（4月～7月）

乳幼児の歯の磨き方や相談等は、区役所で毎月、歯科講座を行っています。

しかし、コロナ禍では飛沫感染防止のため歯みがき指導などが実施できない一方、保護者からは相談できる機会が欲しいとの声があります。そこで、事前に保護者から質問を募集(4月1日～5月15日)し、それに対し保土ヶ谷区歯科医師会の歯科医が動画で回答しました。

(掲載動画)



教えて先生！10分で分かるおやこオンライン歯科講座(5本)

・挨拶編 ・保護者編 ・歯みがき編① ・歯みがき編② ・その他

（2）乳がん予防（6月～9月）

乳がんは他のがんと比べて、比較的若い年齢で発症することが多いがんですが、体の外から自分で触って異常を確かめることができるがんです。イベントでは、乳がん触診モデルを触ることで、「しこり」を体験して自己触診のやり方を学ぶ場を提供しています。しかし、コロナ禍の中、不特定多数の人が直接触診モデルを触る啓発手法は、感染を広げる恐れがあります。

そこで、今年度は、20代のうちから乳がんについて考えてもらうために、保健活動推進員が中心となり作成したセルフチェック用の動画を配信しました。

また、広報よこはまほどがや区版(9月号)でも、乳がん等がん検診の啓発を行っています。

(3) 熱中症予防啓発(7月～8月)

新型コロナウイルス感染症対策のひとつに「マスク着用」があります。しかし、暑い中、マスク着用での外出や運動は、熱中症のリスクが高くなります。

以前から、ホームページや twitter で熱中症対策の呼びかけはしていますが、今年度は天王町商店街の街頭放送を活用し、熱中症予防の啓発をしました。

天王町商店街では、1日6回、商店街の宣伝を放送しています。この街頭放送の各回5分程度を利用し、健康情報等を発信しています。

3 今後の予定

(1) 外国人への子育て情報の提供(英語、中国語の字幕付き動画作成)(11月)

保土ヶ谷区は、市内6番目に外国人が多く、0～4歳では、中国人、インド人の親子が多く住んでいます。コロナ禍により、特に、外国人は、祖国への行き来が難しくなり、家族や親族からの支援が受けられず子育てに不安を持っています。

乳幼児健診での具体的な歯磨き指導や離乳食教室の試食は飛沫感染を起こしやすいため、昨年度は目で見てわかりやすい動画を作成し多くの方が視聴できるようにしました。今年度は、この動画に中国語、英語の字幕、ナレーションを付け、外国人の方が少しでも子育ての不安が軽減するように取組みます。

ア 歯科に関する動画 3本

成長に応じた磨き方を紹介

イ 離乳食に関する動画 3本

離乳食のポイントと作り方を紹介

(2) ほどがやこどもニコニコフェスタの分散開催(11月)

子育て支援拠点「こっころ」、親と子のつどいの広場4法人、区役所、その他関係団体等の協働にて、毎年、多世代を対象に子育てに関する講演会やイベントを実施しています。

令和元年度までは、1か所にて実施していましたが、令和2年度は、コロナ禍ということもあり Zoom、YouTube の配信にて開催しました。しかし、実際に参加しての交流や仲間づくりがしたいとの声もあり、今年度は、感染症対策を考慮しながら7地域ケアプラザにて分散して開催します。



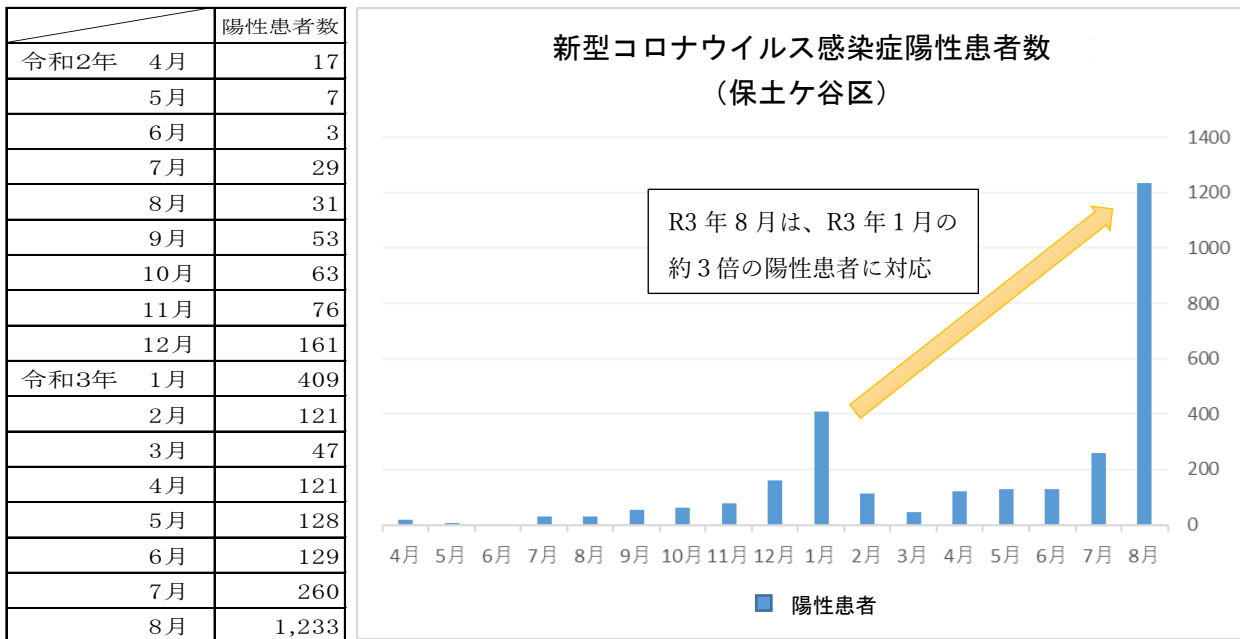
保土ヶ谷区における新型コロナウイルス感染症の状況等について

1 陽性患者数

(1) 陽性患者数（累計）

区内 2,879 人 （令和3年8月27日時点）
 市内 56,160 人 （令和3年8月27日時点）

(2) 月ごとの区内陽性患者数



※毎週金曜日に前日発表分を集計し公表

(3) 区役所への相談状況

濃厚接触が疑われる方や発熱等の症状がある方からの相談件数

（福祉保健課）（令和3年8月31日時点）

	相談件数
令和3年 1月	431
2月	57
3月	76
4月	49
5月	20
6月	14
7月	587
8月	1,260
合計	2,494

2 生活困窮及び生活保護の相談状況

(1) 生活困窮相談数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R元	34	51	63	54	42	52	42	50	43	62	41	89	623
R2	283	420	266	141	144	162	149	89	173	155	246	298	2,526
R3	183	215	223	144	-	-	-	-	-	-	-	-	-
増減	-100	-205	-43	3	102	110	107	39	130	93	205	209	1,903

(2) 生活困窮申込数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R元	6	14	12	19	5	14	12	12	10	14	11	18	147
R2	55	92	64	33	85	96	78	49	96	57	114	196	1,015
R3	112	134	156	79	-	-	-	-	-	-	-	-	-
増減	57	42	92	46	80	82	66	37	86	43	103	178	868

(3) 生活保護相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R元	151	185	247	222	167	178	188	203	197	191	178	240	2,347
R2	316	231	259	268	219	244	241	200	206	239	238	224	2,885
R3	213	212	255	229	-	-	-	-	-	-	-	-	-
増減	-103	-19	-4	-39	52	66	53	-3	9	48	60	-16	538

(4) 生活保護新規受理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R元	25	24	55	55	29	30	40	38	31	41	25	49	442
R2	63	42	40	49	34	41	53	44	32	40	10	30	478
R3	38	28	53	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-
増減	-25	-14	13	-4	5	11	13	6	1	-1	-15	-19	36